

## 学会ニュースNo.110 トピックス

- ・2014年度(第69回)総会・研究発表大会のご案内
- ・2014年度立正地理学会評議員会のお知らせ
- ・秋季例会(東京)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第1報)
- ・第37回秋季例会報告
- ・第110回臨地研究会報告
- ・今年度卒業予定の学生会員の皆様へ
- ・会費納入のお願い

## 会 告

### ○2014 年度(第 69 回)総会・研究発表大会のご案内

2014 年度(第 69 回)総会・研究発表大会を下記の要領にて開催いたします。

#### 記

1. 日時:2014 年 6 月 7 日(土)9:00(予定)より
2. 会場:立正大学熊谷校舎アカデミックキューブ A205 教室(予定)  
(当日、校内に案内を掲示いたします)
3. 総会委任状について  
総会委任状は次号の学会ニュースに同封します。
4. 昼食  
学生食堂が営業しております。
5. 懇親会
  - 1) 会場:立正大学熊谷校舎学生食堂(ステラ)
  - 2) 会費:一般 4,000 円、学生 2,000 円(予定)
  - 3) 時間:17:00~19:00(予定)
6. 研究発表について
  - 1) 申し込み  
・発表希望者は、3 頁の発表申込用紙に所定事項を記入の上、2014 年 4 月 20 日(日)までに、集会委員会宛に、郵送またはメールでお申し込みください。メールでお申し込みの際は、申込用紙と同一の内容を記載して [geosoc@ris.ac.jp](mailto:geosoc@ris.ac.jp) まで送信してください。
  - 2) 発表形式  
・発表の形式は、口頭発表とポスター発表です。いずれかを選択して下さい。
    - ①口頭発表  
・口頭発表は発表時間 15 分、質疑応答 5 分の合計 20 分です。会場には、パソコンと液晶プロジェクターが用意してあります。プレゼンテーションソフトは Windows 版

PowerPoint2010 です。発表用のファイルは、Windows で読み込めるフォーマットの USB メモリーに保存し、当日会場へご持参ください。なお、スライドや OHP の利用をご希望の方は集会委員会まで予めご相談ください。当日の申し出では、準備できない場合があります。

## ②ポスター発表

- ・ポスターのサイズは A0 (短辺 841 mm, 長辺 1189 mm) サイズまでです。
- ・発表者による説明や質疑応答の場合である、コアタイムを設定します。
- ・コアタイムとは別に 1 分程度の口頭による内容紹介を行っていただきます。

## 3) 要旨

- ・発表者は、大会後、期日までに要旨を執筆し、必ずご提出ください。要旨の執筆要領は、大会当日に編集委員会の受付で配付します。ご提出いただいた要旨は『地域研究』に掲載いたします。なお、事前に発表要旨集は作成しません。

## 7. 地理写真の募集について

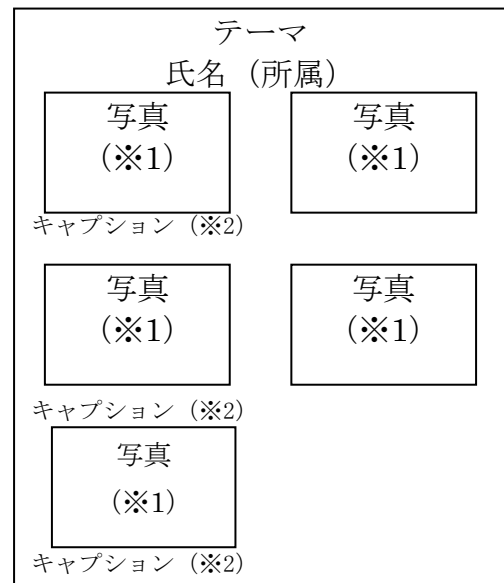
### 1) 申し込み

- ・発表希望者は、3 頁の申込用紙に所定事項を記入の上、2014 年 4 月 20 日 (日)までに、集会委員会宛に、郵送またはメールでお申し込みください。メールでお申し込みの際は、申込用紙と同一の内容を記載して geosoc@ris.ac.jp まで送信してください。

### 2) 発表形式

- ・地理写真のサイズは、A1 縦(短辺 594 mm, 長辺 841 mm)サイズまでです。大会当日に所定の場所へ展示し、大会終了後は各自でお持ち帰りください。写真の大きさ・枚数・貼り方は自由です(作品例の※1)。写真には内容・場所・撮影日時などのキャプションを付記願います(作品例の※2)。

作品例→



## 8. 研究発表大会プログラム・会場案内について

- ・プログラム・会場案内については、次号学会ニュース(2014 年 5 月発送予定)、ならびに学会ホームページ (<http://geo.rissho-map.jp/>) に掲載いたします。

## 9. 展示について

- ・地理関係出版社の出版案内や図書販売が行われる予定です。

## 10. 災害等により開催が困難な場合の対応

- ・地震や台風またはその他のやむを得ない理由によって大会の開催が困難な場合は、立正地理学会ホームページ (<http://geo.rissho-map.jp/>) または立正大学地理学科ホームページ (<http://rissho-map.jp/>) でお知らせいたします。

## 2014 年度 研究発表大会 発表申込用紙

・発表者氏名・所属(共同発表の場合は、発表者に○印をつけて下さい)
・発表題目:
・発表形式(↓いずれかを○でかこんで下さい) 口頭発表 ・ ポスター発表
・連絡先 氏 名: 住 所:〒 — 電話番号: — — ( 自宅 ・ 勤務先 ) E-mail:

## 2014 年度 地理写真申込用紙

・氏名(所属)
・テーマ:
・連絡先 氏 名: 住 所:〒 — 電話番号: — — ( 自宅 ・ 勤務先 ) E-mail:

※申込用紙をコピーしてご利用いただくか、立正地理学会ホームページからファイルをダウンロードして下さい。

## ○2014 年度立正地理学会評議員会のお知らせ

2014 年度立正地理学会評議員会を下記の要領にて開催いたします。

### 記

1. 日時:2014 年 6 月 6 日(金)18:00 より
2. 場所:立正大学熊谷校舎アカデミックキューブ A610(会議室)
3. 議題:1. 2013 年度事業報告の件  
2. 2013 年度決算報告の件  
3. 2014 年度事業計画案の件  
4. 2014 年度予算案の件  
5. その他(他に議題のある評議員の方は、集会委員会までお知らせ下さい。)  
詳細については、次号ニュースにて評議員の方に同封する出欠ハガキをご確認下さい。

## ○秋季例会(東京)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第 1 報)

11 月中旬に大崎キャンパスで開催予定です。

### ○第 37 回秋季例会報告

去る 2013 年 11 月 9 日(土)、第 37 回秋季例会が、立正地理学会と東北学院大学地域構想学科共催シンポジウムとして開催された。「東日本大震災からの復興と今後の防災・教育-震災から 2 年を経過した今-」をテーマとし、東北学院大学和泉キャンパス 1 号館大会議室で開催された本例会には、70 名が参加し、活発な議論が交わされた。

6 名のプレゼンターによる発表は、先史時代における災害、東日本大震災がもたらした被害、震災後に人々が強いられた生活の変化、防災意識向上のためのメソッドなど、長い時間軸の中で、災害を様々な角度から分析し、将来的な減災に繋げるための方策を提言するという、大変意義深いものであった。特に、仙台で被災された先生方の実体験に基づくご発表は、自らも被災者でありながら、客観的にその時々々の状況を解析した成果であり、また地域住民が安心して生活できるための環境整備に奮闘される姿は、研究者としての強い使命感に満ちたものであったといえよう。

本例会の企画・運営にあたり、多大なるご尽力をいただいた東北学院大学の岩動志乃夫会員には心より御礼申し上げます。  
(集会委員 貝沼恵美)

### ○第 110 回臨地研究会報告

テーマ:石巻と大崎を事例とする東日本大震災からの復興—水産加工業、観光業、酒造業を事例に—

2013 年 11 月 10 日 8 時 30 分やや天候に気を遣いながら 23 名の参加者が乗車した貸切バスは、仙台駅東口を出発した。仙台港北 IC から仙台東部道路・三陸自動車道を走行中、三井アウトレットパーク仙台港、2002 年ワールドカップサッカー予選会場の宮城スタジアムを

車窓から観察し、利府町の秋の風物詩でもある和梨生産と直売所についての説明を受けながら石巻市へと移動した。同市の大震災による津波浸水面積は 73 km<sup>2</sup>で、中心市街地のほぼ全域が浸水した。死者・行方不明者が 3,500 人を越え、県内で最も甚大な被害を受けた地域である。

津波被害の激しかった明神町付近の市街地を観察後、10 時 15 分に最初の訪問先であるサンファン館宮城県慶長使節船ミュージアムに到着した。学芸員・中澤希望氏より同博物館の概要と東日本大震災の被害状況、復興過程についての説明を受けた。今年には伊達政宗の命を受けてヨーロッパを訪問した支倉常長が出航して 400 年目の節目の年である。先の大震災で甚大な被害を受けたわが国初の西洋帆船サン・ファン・パウティスタ号(復元船)も 2 年半もの歳月を要した修復を終え、その勇姿に一同目を見張った。

次に石巻魚市場株式会社の大江康博氏の案内で雨が降り始めた石巻漁港付近を見学した。市内 44 港が被災し、被害総額は県管理漁港 981 億円、市管理漁港 692 億円の合計 1,673 億円に上る。また同市の水産物地方卸売市場は、水揚棟、海水浄化施設、管理棟を含め全施設が全壊する被害を被った。現在魚市場が建設中であり、平成 27 年度に完成する。水産加工団地(魚町)の再開状況は 2013 年 8 月現在で、水産加工・冷蔵倉庫が 84 社中 53 社(63.1%)、その他関連事業所 123 社中 58 社が再開(47.2%)した。石巻漁港付近は地盤沈下が激しく、渡波(わたのは)明神付近で -78 cm である。そのため随所でかさ上げ工事が進行中であった。

車窓から石巻の中心商店街・立町商店街について東北学院大学 4 年生・阿部広大君の説明を受けながら観察した。昼食は竹の浦・飛翔閣にて当地の海鮮料理に舌鼓を打ち、午後の訪問先である(株)一ノ蔵酒造へと向かった。管理課長・大江勝利氏の案内で特に純米酒の製造に力を入れている酒造りの工程を見学した。帰り際にはできたての清酒を試飲、土産も購入し、心地よい気分ではバスは 17 時前に仙台駅に到着した。

今回は仙台市内の高校生の参加もあり、この巡検を通して地理への興味関心がますます深まることを願っている。最後になりましたが今回各施設の説明を快く引き受けて下さった関係諸氏の方々と企画・準備・案内役を担当した高木亨会員に厚く御礼申し上げます。

(第 110 回臨地研究会案内者 岩動志乃夫会員)



第110回臨地研究会での集合写真(一ノ蔵酒造にて)

## ○今年度卒業予定の学生会員の皆様へ

この3月で卒業される学部4年生・院生の会員の方々には、来年度以降も会員として継続されることをお薦め致します。引き続き立正地理学会会員として、学会活動にご参加下さい。学会ニュースやホームページなどで、学会活動のほか、地理学教室の情報などを提供していきます。会員継続をぜひご検討下さい。

継続される方は、卒業証書授与式で配布する継続届けを記入の上、『地域研究』や『学会ニュース』に同封する払込取扱票にて5月末日までに会費をご納入下さい。他大学や大学院などに進学される方は学生会員(年会費2,500円)、それ以外の方は一般会員(年会費4,000円)となります。

## ○会費納入のお願い

2013年度分の会費が未納の会員には、今回の学会ニュースに「会費納入状況のお知らせ」と「払込取扱票」を同封しておりますので、ご納入下さい。また、過年度分会費が未納の方は、過年度分もあわせてご納入願います会費および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000円 学生会員 2,500円  
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下のとおりです。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッショウチリガクカイ

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際には、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。

(庶務会計委員会)

### 立正地理学会ニュース No.110

2014年3月20日発行 編集者 立正地理学会広報委員会  
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内  
電話 048-539-1672 振替 00130-8-13453